



## 日本初の三人麻雀競技者団体「SDA」発足！

### SDA団体理念

日本三人打麻雀協会は平成29年4月1日より活動を開始しております。まだ設立してまもない組織です。三人打麻雀の普及と発展を目標としており、現在様々な活動を行っております。

関西では三人打が主流ですが、2017年現在、二人打麻雀の活動を主とした組織はありません。

今後この「日本三人打麻雀協会」ではタイトル戦やリーグ戦などを行い三人打麻雀の活性化を行っていきたいと考えます。

また私たちが三人打麻雀を通して「麻雀の楽しさ」や「人と繋る喜び」をより多くに伝えていきたいと思っております。

日本三人打麻雀協会は、これから数ある麻雀協会の中でも麻雀のイメージアップに繋がる様に積極

的に活動を行ってまいりますので、是非皆様に御理解と御協力頂ければ幸いです。

理事長 長谷 昌広

# SDA

## 優勝した篠原選手



決勝戦の様様

## SDA設立記念大会開催

麻雀業界では牌の日として認識がある8月1日、大阪市鳳凰シヨールームにてSDA初の主催大会「SDA設立記念大会」が開催された。

SDAとは関西の三人打麻雀店が、三人打麻雀を活性化させるべく設立した団体で、本大会はその設立後初の大会となる。

参加したのは全3回の店舗予選を勝ち抜いた三人麻雀の強者たち。ほとんど協賛店舗のメンバーであり、ふだん麻雀を生業とし、麻雀で生計を立てている人々である。

SDA大会では、オースドックスな関西三麻のルールが採用されている。完全先付、クイタン無し、のいわゆる「ナシナシ」。五筒・五索はすべてドラ。華牌は抜きドラとして採用など、ドラが表ドラと合わせて16枚とスリリングなルールとなっている。

対局の様様は、元近鉄バファローズ投手の加藤哲郎氏を解説に迎え、ニコニコ生放送・FRESH!・Youtubeの各雀サックTVで生配信された。

そのような中、初代王者に輝いたのは、高槻市の麻雀荘「ルーキー」所属の篠原選手。終始先制リーチを打つ積極的な攻めを見せての優勝となった。

対局を通して、さすが三人麻雀慣れしているという場面が多く見られ、四人麻雀との違いが明確に表れる状況も数多く見受けられた。三人麻雀は四人麻雀と比較するとどうしても大雑把なイメージが付いて回るが、実はとても繊細な打牌選択、押し引きが必要という事もあり、本大会の配信により、三人麻雀の認識、普及への第一歩となったに違いない。

SDAでは、今後も継続して三人打の大会が開催される予定である。ぜひとも腕に覚えのある方、三人麻雀に興味があるという方は参加してみてほしい。